

# これまでの宅地嵩上げ事業

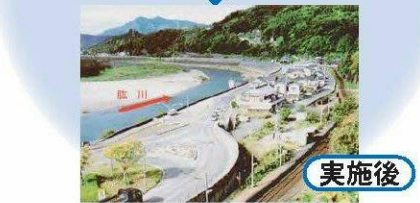
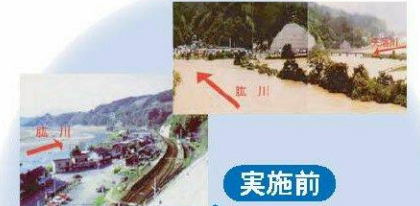


大洲河川国道事務所  
ホームページキャラクター  
「うっぴー」

# 洪水から 地域を守る

## 一級河川肱川

(国)大和[上老松]地区 土地利用一体型水防災事業  
(県)大洲長浜線改良事業  
(市)上老松土地区画整理事業



## 肱川の概要

肱川は、愛媛県の西南部、西予市宇和町正信(標高460m)から流れはじめ、大洲市長浜町で伊予灘に流れ込む流域の広さ1,210km<sup>2</sup>、流れの長さ103kmの県下一の級一級河川です。

この流域のうち約90%が山地で、西予市、大洲市(大洲盆地)でわずかに平地が開けるのみです。他の河川で見られるように河口に近づくにしたがって、平野が開けるという地形ではありません。

特に、大洲盆地から河口の間は山が肱川に迫り、川幅が著しく狭くなっています。ひとたび洪水が起きると、異常に水位が上がり、

国土交通省四国地方整備局  
大洲河川国道事務所

〒795-8512 愛媛県大洲市中村210  
TEL 0893(24)5185

愛媛県八幡浜地方局  
大洲土木事務所

〒795-8504 愛媛県大洲市田口甲425-1  
TEL 0893(24)5121

愛媛県  
大洲市

〒795-8601 愛媛県大洲市大洲690-1  
TEL 0893(24)2111

# 上老松地区 宅地嵩上げ方式により 堤防を整備します

## 上老松地区整備事業

大洲市長浜町上老松地区は、兩岸に山脚が迫っている狭隘地区であり、貴重な宅地などの消失を最小限にとどめ地域住民の生活環境を保全するため、築堤に代わって宅地嵩上げを行い、浸水被害を防ぐ計画区間です。事業の実施にあたっては、河川事業、道路事業及び上地区画整理事業との連携により事業を行います。

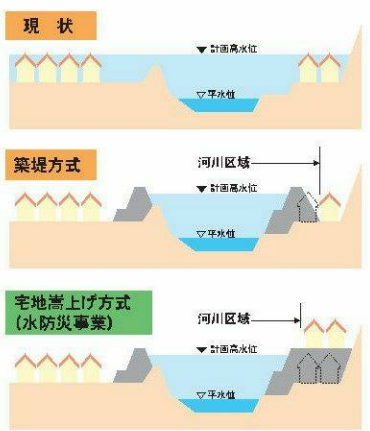
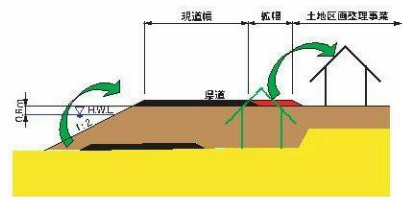
## 土地利用一体型水防災事業

脇川の下流域は、川岸まで山が迫っているため、狭い土地に住宅が密集して建っています。ここに堤防を造ることにより、まもるべき多くの家屋の移転や用地買収が必要となるため、地域社会の存続が困難になり、住環境が悪化するなどの影響を及ぼすことになります。

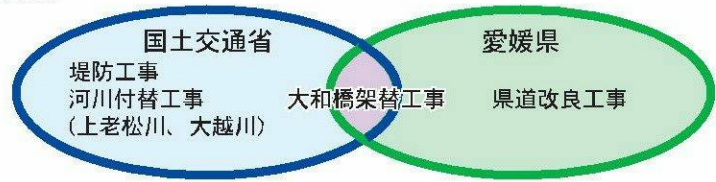
そこで、土地利用一体型水防災事業により、宅地の嵩上げによる治水対策を実施します。

上老松地区整備イメージ

また、宅地の嵩上げ造成に土地区画整理事業を導入することで、快適な住環境と治水の両立が図れます。



- 事業期間：平成19年度～平成25年度
- 総事業費：約85億
- 事業延長：L=880m
- 事業分担



## 事業概要

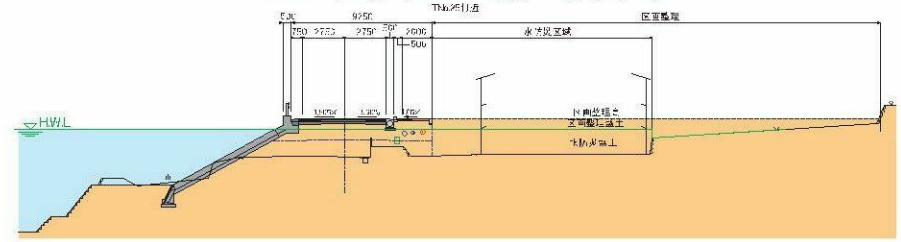
### 土地利用一体型水防災事業

- 事業費 約45億円
- 計画延長 L=880m
- 護岸勾配 1 : 2
- 余裕高 H=0.6m

### 大洲長浜線改良事業

- 事業費 約17億円
- 路線名 主要地方道 大洲長浜線
- 計画延長 L=880m
- 幅員 W=9.25m  
2車線 W=5.5m  
歩道 W=2.0m

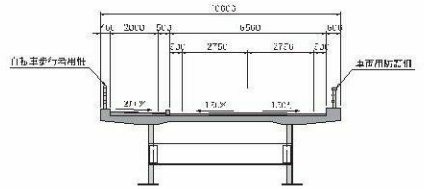
河川・道路・区画整理合併 標準断面図



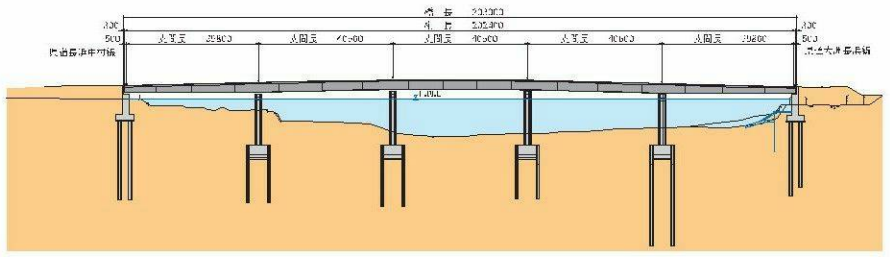
### 新大和橋架橋事業

- 事業費 約23億円
- 橋梁名 新大和橋
- 路線名 主要地方道 長浜保内線
- 計画橋長 L=203m
- 幅員 W=9m  
2車線 W=5.5m  
W=2.0m

新大和橋 上部工標準断面図



新大和橋 側面図



## 国土交通省事業

### 宅地の盛土と嵩上げ

約100年に1度の確率で発生する洪水において浸水が予想される宅地について嵩上げを行い浸水を防ぎます。宅地の嵩上げ造成にあたっては、上地区画整理事業を導入し、快適な住環境と治水の両立を図ります。

### 脇川本川の堤防工事

脇川本川の堤防工事については、主要地方道大洲長浜線と併せて実施します。

## 関連事業

### 大洲長浜線改良事業(愛媛県)

主要地方道大洲長浜線を河川改修事業と併せて改良します。

### 新大和橋架橋事業 (国土交通省・愛媛県)

脇川本川の堤防工事と併せて新大和橋(主要地方道長浜保内線)を架橋します。

### 土地区画整理事業(大洲市)

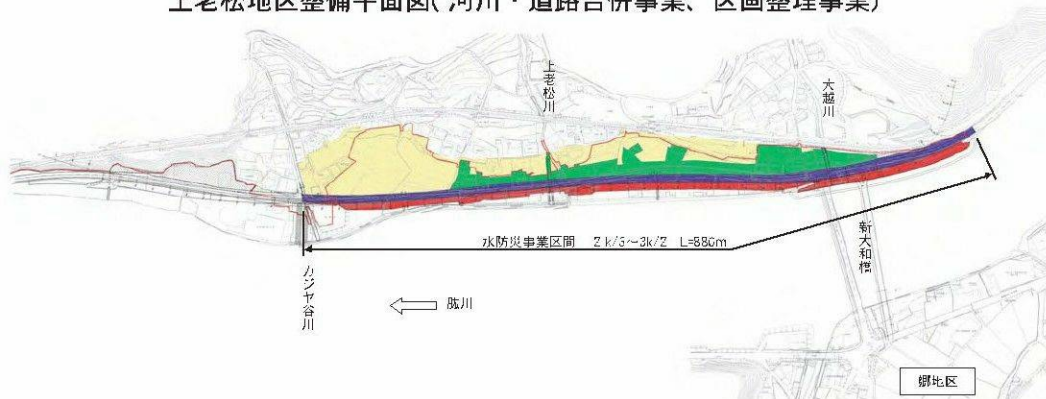
土地区画整理事業を導入し、より効果的な宅地造成・区画整理(地域コミュニティの維持)を実施します。

# 暮らしに安全と快適を。

## 上老松地区整備 (河川・道路合併事業、土地区画整理事業) (H19年度～H25年度予定)



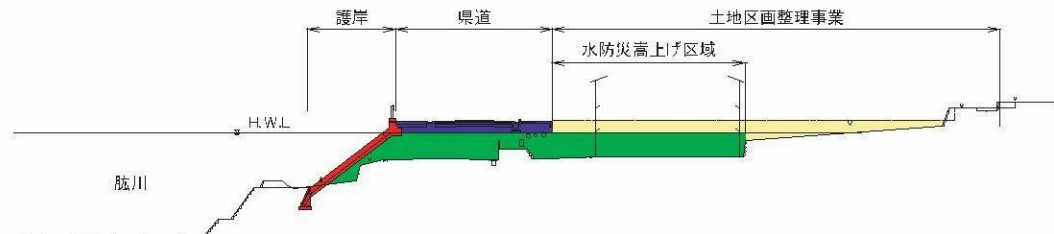
上老松地区整備平面図(河川・道路合併事業、区画整理事業)



### 施工分担

河川道路合併事業(施工:国交省):堤防護岸・県道・水防災盛土[図面:赤・青・緑]  
土地区画整理事業(施工:大洲市):区画整理盛土、区画街路、排水路等[図面:黄]

凡例	
護岸	
県道	
土地区画整理事業	
水防災盛土範囲	
肱川H.W.L.影響範囲	



# 長浜都市計画事業 上老松土地区画整理事業

# 長浜都市計画事業 上老松土地区画整理事業概要

大洲市長浜町上老松地区では、一級河川肱川の改修に伴う「土地利用一体型水防災事業」に合わせて、道路、公園その他の公共施設の整備改善を図り、良好な環境の市街地を計画的に造成することにより、土地利用一体型水防災事業の建設移転を円滑にし、宅地の利用増進を図ることを目的として、土地区画整理事業を行います。

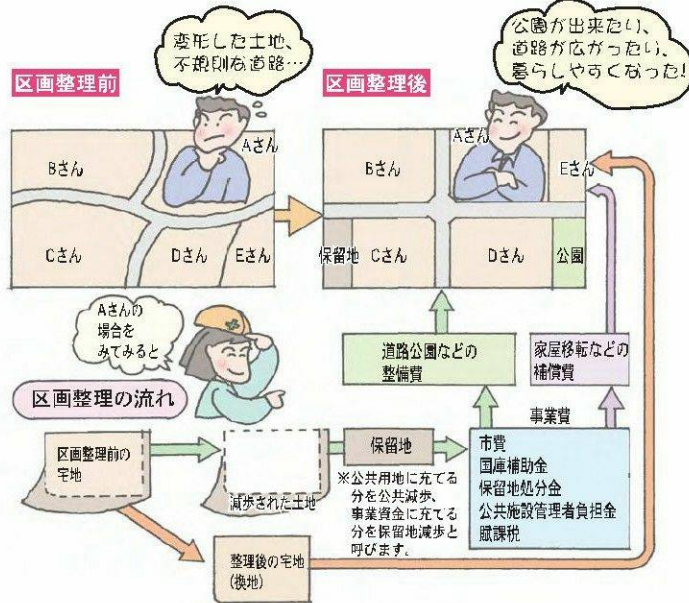
■事業期間：平成19年度～平成26年度

■総事業費：約4.4億

■事業内容

## ■区画整理のしくみ

土地区画整理事業は、公共施設が、未整備の一定の区域において地権者からその権利に応じて、少しずつ土地を提供(減歩)していただき、この土地を道路、公園などの公共用地に充てるほか、その一部を売却し事業資金の一部に充てる事業制度です。



## ■区画整理の特徴と効果

- |   |                                 |                                 |  |  |
|---|---------------------------------|---------------------------------|--|--|
| <b>生活環境の改善</b><br>道路や水路、公園、上水道、ガスなどの総合的整備 | <b>災害対策</b><br>消防活動の円滑化と避難経路の確保 | <b>土地の高度利用</b><br>土地整形による利用の高度化 | <b>財産価値の増加</b><br>土地の価値の向上にともなう財産価値の増加 | <b>町名や地番の整理</b><br>配達や自治活動の容易化とコミュニティの保全 |
|---|---------------------------------|---------------------------------|--|--|

## 土地利用計画(面積比)

現在	公共用地	約18.1%
	農地	約40.5%
	住宅地	約34.4%
	その他雑種地	約7.0%
将来	公共用地	約38.3%
	住宅地	約59.3%
	保留地	約2.4%

## 人口計画

現在	地区内人口	100人
	人口密度	26人/ha
(※平成17年度3月末時点)		
将来	地区内人口	約200人
	人口密度	約90人/ha
(2.7人/戸、300㎡/戸)		
(※道路公園などの公共施設面積を除く)		

## 公共施設計画

- 道路** 主要地方道 大洲長浜線 (幅員 9.25m)
- 区画道路** (幅員 4.2m～6.2m)
- 公園** 地区中央部、北部、南部の計3箇所 (地区内人口1人当たり3㎡以上)

## 供給処理施設計画

- 上水道** 区画道路に配水管を埋設して各宅地に供給
- 雨水排水** 宅地排水と道路排水を排水管に集水して肱川に放流

## 公共施設の整備計画

- 公益施設** 地区外の既存施設を利用

## 宅地の整備計画

水防災事業区域の既存住宅はHWLまで別途水防災事業により盛土し、農地及びHWL以上の盛土については本事業により整備する。

## 大和(郷)地区の整備



水防災事業、県道整備事業、土地区画整理事業の連携により、安全で快適な住環境の整備が行われました。

## ■区画整理平面図

